

会 議 概 要 報 告

1. 会議の名称	令和3年度第3回行政改革推進委員会
2. 開催日時・場所	令和3年11月8日（月）10時00分～10時53分 潟上市役所 3階 第1・第2会議室
3. 委員等の人数	8人
4. 出席委員等の人数	6人
5. 議題	行政評価の総括について
6. 傍聴者の数	0人
7. 会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当日配布資料1 令和3年度潟上市行政評価に係る外部評価報告書(案) ・ 事前配布資料1 令和3年度潟上市行政評価に係る外部評価一覧(案) ・ 事前配布資料2 行政評価 事務事業外部評価 個票
<p>【会議要旨】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外部評価について協議した。 2. 本会議結果に基づく資料を委員長と事務局で調整し報告書としてまとめ、委員長と副委員長から11月24日（水）に市長へ提出してもらうこととした。 3. 次回会議の開催は、2月中旬の予定。日時等詳細は後日通知する。次回会議の内容は第4次行政改革大綱実施計画の進捗状況の管理を予定している。 <p>【会議録】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会（企画政策班長） 2. 委員長あいさつ <p>・ 委員長</p> <p>おはようございます。本日第3回行政改革推進委員会を開催するにあたりまして、委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。また、評価コメントを多数頂き、今日の協議がスムーズに進行できるかなと思っています。今日の新聞に大きな見出しで経済対策として30兆円規模相当のものを検討していると掲載されておりました。内容として、18歳以下への10万円の給付、Go To トラベルの再開の他、看護師や保健師、介護職の処遇改善策として5千円から1万円程度賃金を上げるなどについて、この後検討していくとのことでした。今後、新型コロナウイルス感染症がどうなっていくのか、第6波が来るのかも分かりませんが、収束はすると思います。ただ、感染症ですのでゼロになることはないと言われていています。そのため、国・県・市といった行政も今後の対策が大変かと思いますが、行政評価をどういった指標として出すかによって、今</p>	

後の事業展開の一助になればと考えていますので、委員の皆さまから屈託のない意見を出していただいて、より良い最終評価にしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 協議事項

行政評価の総括について

事業 No. 1 事業者継続支援金

(※配付資料に基づいて、事務局より評価結果について説明)

・委員長

評価コメントの文面に関する補足、訂正が必要な事項がございましたら、ご意見をお願いいたします。

(意見なし)

意見がないようですので、事業者継続支援金に関する評価は資料のとおりとします。

(異議なし)

私からの要望です。評価項目がAからDの4段階で、Bが「概ね効果があった」となっていますが、「普通」の評価項目がありませんでした。「普通」の項目も設けて5段階評価とした方が良かったのではないかと思います。「普通」を基準としながら、良かった、悪かったの評価ができるように、今後評価する際には5段階で評価できるよう検討をお願いいたします。

では次に進みます。

事業 No. 5 情報発信強化・アクセシビリティ向上事業

(※配付資料に基づいて、事務局より評価結果について説明)

・委員長

評価コメントの文面等に関して、ご意見があればお願いいたします。

・委員

アクセス件数 22,000 件増加となっていますが、こういった分野のページに関して閲覧が増えたのか教えてください。

・事務局

この場で回答することはできませんが、担当課では把握しております。

・企画政策課長

内訳に関しては担当課で把握しておりますが、内容は多岐に渡っています。概ね、新型コロナウイルス感染症やワクチン接種に関するページへのアクセス件数が多い状況です。

○企画政策課広報統計班へ確認（令和3年11月15日）

ワクチン接種、新型コロナウイルス感染症関連情報、広報、かたりあんへのアクセス件数が上位を占めている（月平均）。

・委員長

新聞に、「テレビやラジオ、広報などで『詳しい内容はホームページをご覧ください』『QRコードからアクセスしてください』という言葉を見かけるが、閲覧できない方もいる」という読者の声が掲載されていました。デジタル機器を苦手とし、アナログを必要とする方もいるので、すべてデジタル化というのは私自身も違和感があります。そういった文言も、その他の評価コメントに追加してはいかがでしょうか。市の広報にも「ホームページをご覧ください」と記載されていますが、デジタル機器を使えない方々もいらっしゃいますので、アナログの大切さや必要性も追記が必要ではないかと感じました。

・企画政策課長

ご意見のとおりだと思います。実際、年配の方々はデジタル機器が苦手としているという声をよく耳にします。市のお知らせ等に関して、スマートフォンを利用したQRコードの読み込みによる情報への誘導も行っておりますが、アナログ方式を望まれる方に対しては、従来どおりの紙媒体による申請やお知らせなどの対応をしております。市民にとって利便性が向上するものについてはデジタルを取り入れつつも、広報による告知など従来からの方法も併用しながら進めていかなければならないと考えております。頂戴したご意見を参考とし、外部評価について取りまとめいたします。

・委員長

よろしく申し上げます。
では次に進みます。

事業 No. 11 健診予約IT化事業

(※配付資料に基づいて、事務局より評価結果について説明)

・委員長

ご意見等ありましたら、お願いします。

・委員

先ほどのようなご意見のとおり、やはりパソコン等のデジタル機器を苦手とする方はいらっしゃると思います。ただ、段々と高齢の方もスマートフォンに移行しつつあると感じています。スマートフォンやパソコンを持っていても予約方法が分からず、Web予約ができない高齢者の方が相当数いるかと思いますが、広報等で予約方法について詳細に紹介してもらえれば、Web予約者も増加するのではないかと思います。

・委員長

ただ今のご意見は、評価コメントの中に追記した方が良いと思いますので、よろしく申し上げます。
では次に進みます。

事業 No. 14 集会施設環境整備事業

(※配付資料に基づいて、事務局より評価結果について説明)

・委員長

ご意見等ありましたら、お願いします。

(意見なし)

ご意見がないようですので、私から発言させていただきます。経済対策との関係が「マスク・消毒液等の確保」となっていることに関連して、今後新型コロナウイルス感染症がどうなっていくか分かりませんが、インフルエンザは手洗い・うがいをすることで減ってきたのではないかとされています。新型コロナウイルス感染症がいつ収束するか分からない状況の中で、この後国から交付金が交付されるのか分かりませんが、マスクや消毒液の購入についてどういった対応をしなければならないのか。市の独自予算で実施しなければならない状況も想定されますので、それも含めて外部評価の中に入れてらどうかと考えています。今後の推移も注視しつつ、マスク・消毒液等の購入、施設への配置等について考えていかなければならないという文言も追加したら良いのではないかと考えています。

・企画政策課長

今後の新型コロナウイルス感染症については誰もが予測できない状況です。今後の状況に応じて必要な物であれば、国の交付金がなくても市の一般財源で対応しなければならない部分もあるかと思っておりますので検討してまいります。

・委員長

今後の動向が注視されることかと思っておりますので、追記をお願いします。

・委員

総合管理計画個別施設計画の中で、廃止・解体を予定している施設はどのくらいあるのでしょうか。

・企画政策課長

計画には、市所有の施設や地域の集会所の他、学校・保育関連施設も含まれておりますので、対象施設は相当数ございます。一概には言えませんが、基本的な姿勢としては、現在利用されている施設については最小限の費用で維持管理しながら利用していくこととしております。耐用年数を迎えた施設の大半が合併前からある施設ですので、合併後、同様の施設が近隣にある場合は、機能的に集約できる施設については集約していく方針としております。今後年数が経過し、施設の老朽化の進行状況や財源状況等を具体的に判断しながら対応していくこととなります。

・委員

現に利用されており利用頻度が低い施設であっても、既存のものがあるということは、耐用年数を迎えたとしても、廃止・解体とするのは大変なことかと思っております。

・企画政策課長

今まであったものが無くなるということは、かなり抵抗感があると思っております。

・委員長

この件につきましては以前から議論されていますが、なかなか進展しないのが現状です。早く進めた方が市の財政も圧迫しないと思われれます。今回施設に空調設備を整備しましたが、将来的には修繕が見込まれます。施設の廃止に関しては、どこまで進めるかという問題もありますが、なるべく早く進めた方が良いのではないかと考えています。

この事業に関しては以上でよろしいでしょうか。

(異議なし)

次に進みます。

事業 No. 19 学校 ICT 環境整備事業

(※配付資料に基づいて、事務局より評価結果について説明)

・委員長

ご意見、追加のコメント等があればご発言をお願いします。

(意見なし)

新聞に県内市町村の対応が掲載されておりましたが、潟上市は ICT 機器の家庭への持ち帰りについて、来年度以降の方向性は決まっているのでしょうか。

・事務局

前回委員会の担当課の説明では、現時点でそのようにするとか、しないというような結論を出している段階ではなく、今後検討するということでした。

○学校教育課長へ確認（令和3年11月15日）

令和4年度以降、ICT機器を家庭へ持ち帰る方向で検討している。

通信環境のない家庭にはルーターを貸し出す予定である。通信料は保護者負担とするが、要保護

・準要保護世帯に対する通信料の補助を検討している。

・委員長

アパートに入居している大学生でもインターネット環境がない方がおり、インターネット環境が整っている友人宅で勉強しているという話も聞きます。コロナ禍の中で、家庭環境が大変な家庭もあるかと思います。前回、機器の貸し出しはできるが通信費は保護者負担というお話がありましたが、通信費も助成している自治体もあるようです。様々な差別が生じる恐れもありますので、この事業は慎重に進めていく必要があると感じています。

委員の皆さまから他に意見等ございませんか。

(意見なし)

すべての事業について、事務局から追加の説明を求めたいものやコメントの追記・削除が必要であるなど、ご意見がありましたらご発言をお願いいたします。

(意見なし)

事務局から補足があればお願いします。

・事務局

当日配布資料1について補足の説明をさせていただきます。こちらは、市長への報告書として予定しているものになります。この中の「実績と効果及び課題」は、事務事業評価表から抜粋した内容を、「外部評価」及び「外部評価意見等」は委員の皆さまから提出していただいた外部評価シートを取りまとめした内容を記載しております。5つの事業について集中的に協議していただきましたが、27事業すべてについて委員の皆さまから評価していただきましたので、最終的にはこの報告書をもって市長に評価結果を報告したいと考えております。

・委員長

評価コメントの記載がなかった事業に関しては「部局評価をもって妥当とする」としてありますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

国の交付金を充てて27事業実施したわけですが、必ず何らかの効果があって、効果が得られなかったという評価はないと考えています。今後、新型コロナウイルス感染症がどうなっていくのかによって、市が実施すべき事業などがあると思います。市の財政のみでは実施困難で国や県への要望も必要になってくる可能性も考えられるため、行政としてどう判断して進めていくのかという課題もあろうかと思っています。

委員の皆さまから何か意見等ございませんか。

・委員

委員長と同じで、今回評価した事業はすべからくコロナ対応の事業であり、文句のつけようもありませんでした。コメント等がなかった事業に関しては、「部局評価をもって妥当とする」との記載で結構だと考えています。

・企画政策課長

皆さまの評価とは直接関係のない話となってしまいますが、アフターコロナに向けて、市はその状況に応じた対応を行っていくこととなります。事業者継続支援金や飲食店コロナ対策支援金などといった事業者支援事業と関連して、金融機関や商工会に届いている市内事業者の生の声として紹介できるものがございましたらお願いいたします。今後、経済対策が検討されていることも踏まえ、参考としてお願いいたします。

・委員

事業 No. 3の秋田県経営安定資金（危機関連枠）に対する利子補給事業に関してですが、事業者としても新型コロナウイルス感染症の影響がどれだけあるのか不透明な中で、資金繰りに余裕を持たせるために借りやすい環境をつくったということは、効果があったのではないかと思います。事業者の中には、資金を保有して影響があまりないようであれば資金を返済するという事業者もいるのかなと考えています。

飲食店等は新型コロナウイルス感染症の影響を非常に受けていると思います。我々が地盤としている天王地区は飲食店もそれほど多くないため、思ったほど影響を受けた管内事業者は少ないような印象を受けています。

・企画政策課長

具体的にはどういった業種になりますか。

・委員

建設業が多いのですが、初期の頃はマスク等の感染症対策用品の購入費用がかかったようですが、あまり影響を受けていないようです。

・企画政策課長

資材が入ってこないという話もありましたが。

・委員

トイレが入ってこないという話がありましたが、物を選ばなければ進めることができるようです。

事業 No. 1 の事業者継続支援金についてですが、一律 10 万円ではなく、売上が減少した事業者に対して手厚く支援するほうが良かったのではないかと考えています。ただ、この段階では新型コロナウイルス感染症の影響が予測できなかった状況ですので、この方法もやむをえなかったのではないかと感じています。現在市が実施している感染予防環境整備補助金が、アフターコロナという観点から、前を向いている事業者への支援として非常に良い補助金だと考えています。上限 50 万円の補助を受けることができるので、事業者が前に向かっていく姿勢が見えてくると思います。これに伴い、キャッシュレスを導入しようとする事業者もいますので、アフターコロナを見据えた事業を考えていただきたいと思います。

・委員

事業 No. 1 の事業者継続支援金は、売上減少事業者に対する補てんの一助になったのではないかと考えています。一律 10 万円が良かったのかどうかは判断が難しいところですが、新型コロナウイルス感染症の影響が予測できない段階で、事業者皆さんに対する一律の支援としてはこういった形になったのではないかと思います。飲食店についてですが、団体による宴会がほぼなかったのも、宴会等をメインにしている飲食店については、売上がかなり減少したものと考えています。ただ自粛期間中であっても、数人で飲食している場合もありましたので、そういった分野をメインにしている飲食店も売上は減少していましたが、極端な減少ではなかったと感じています。国の給付金もありましたので、売上減少分は補えていたのかなというイメージです。

・企画政策課長

潟上市の場合は宿泊施設もほとんどなく、観光バスや観光タクシー等の事業者もいないため、新型コロナウイルス感染症の影響は少なかったのかなと考えています。

・委員

今はウッドショックで建築業者に木材や資材が入ってこない現象が生じ、工事が思うように進まないという話も聞きます。全般的に、資材は高騰してきています。タイなどの工場が閉鎖され生産自体がされていないため、資材がいつ入ってくるか分からない状況との話を聞いています。

・委員長

特殊な工事を行う場合、県内に技術者がいないため県外から来ることになっているが、コロナ禍でなかなか来てもらうのが難しく、来てもらったとしても 2 週間待機し、その後現場に来るため、工期が大幅に遅れるようです。

また、漁師の方によると、居酒屋が動かないため魚の値段がどんどん下がってきていることに加え、灯油やガソリンが高騰し、漁に出ても赤字になってしまうので大変だとの話でした。

・企画政策課長

今後、国から追加の経済対策が予定されておりますが、潟上市の状況に即した政策を展開したいと考えています。皆さまありがとうございました。

・委員長

以上で外部評価の協議を終了としてもよろしいでしょうか。

(異議なし)

これで外部評価の協議を終了とさせていただきます。最後に事務局から事務連絡等をお

願います。

- ・事務局

本日協議いたしました外部評価につきましては、委員長と事務局で調整し報告書としてまとめ、11月24日（水）に委員長と副委員長より市長へ提出していただきます。委員の皆さまには後日郵送いたします。また、次回の会議開催は、2月中旬を予定しております。後日改めて開催通知を送付いたします。内容は第4次潟上市行政改革大綱実施計画の進捗管理ですので、よろしくお願いいたします。

- ・委員長

会議はこれにて終了となります。お疲れ様でした。

(10時53分 終了)